



古城山

大桑小学校・PTAだより

令和5年3月20日

第13号

三代目かしの木 元気になってね

PTAボランティア活動として3月5日(日曜日)、県内の樹木医さんを講師としてお招きし、三代目かしの木に栄養を与える作業を実施しました。これは大桑小学校創立150周年記念行事の最後のイベントです。ボランティア活動に参加してくれた児童の皆さん、保護者の皆様、ありがとうございました。

三代目かしの木は、平成24年に現在の場所に移植されてから、11年になります。昨年度、ロープを使ってかしの木に登る体験を行った時に、外部講師の方から、「かしの木が傷んでいるから一度、樹木医に診てもらったらどうか」と提案を受けたことが今回の作業のきっかけです。よく観察すると、かしの木の幹の南側にはたくさんの葉が茂っていますが、幹の北側にはあまり葉がついていなくて、枯れた枝が目立ちます。

今回の栄養を与える作業では、かしの木の周囲に小さな穴をいくつか掘って、その中に腐葉土や肥料を入れました。根の先端にある細い根から、栄養を吸収してもらおうという作戦です。この作業を何年もかけて繰り返すことで、徐々にかしの木は元気を取り戻していくとのことでした。三代目かしの木は、「シラカシ」という名前です。

かしの木の作業の後で、校庭にあるその他の樹木についても、樹木医さんに診断してもらいました。元気がない樹やカイガラムシがついている樹、菌が幹に入り込んで枯れている樹などが見つかりました。いまずぐ倒壊の恐れがある樹木はありませんでしたが、枯れている枝については危険性もあるため切ってもらいました。今後、樹木医さんの診断をもとに少しずつ、校庭の樹を元気にする作業を行う予定です。

今回の学校だよりで、令和4年度の最終号です。学校創立150周年記念行事に関して、地域の皆さまから多大なるご協力、ご支援を賜りましたことに、この場をお借りして感謝申し上げます。この2年間、地域の皆様と一緒に子供たちの健全育成を進めましたところ、その成果が認められて、大桑小学校は3月2日に、山県市教育委員会表彰を受けました。後日、全校集会を開催し、子供たちと一緒に受賞の喜びを分かち合いました。令和5年度は「元気な学校」を合言葉にして、もっといい大桑小学校になるように力を尽くしてまいります。今後とも引き続き、本校の教育活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



校長 花村伸二



一堂に集まって行った6年生を送る会

コロナ禍でここ数年は、規模を縮小したり、参加者を限定していたりして実施していた6年生を送る会。今年は、体育館に、卒業生・在校生・保護者・教職員が一堂に集まって開催することができました。6年生に一人一人に関わる〇×クイズ、寄せ書きのプレゼント、各クラスの出し物など、楽しさとうれしさに笑顔あふれる会になりました。



ウォータークーラーを設置していただきました

創立150周年記念として、大桑小PTA記念行事からウォータークーラーを設置していただきました。使い始める前に、全校児童が集まり、PTA執行部の方と児童代表でテープカットセレモニーを行いました。これからどんどん、そして大切に活用していきたいと思っております。ありがとうございました。



4月の行事予定

7日(金) 始業式・入学式(11時下校)	19日(水) 1年生を迎える会・歯科検診
10日(月) 給食開始	21日(金) 通学班会
13日(木) 発育測定	22日(土) 開校記念城山登山
14日(金) 認証式・命を守る訓練	24日(月) 振替休業日
17日(月) 歯磨きスタート	25日(火) 運動会結団式
18日(火) 全国学力学習状況調査	28日(金) 授業参観・PTA総会・学級懇談会

22日の開校記念城山登山が雨天中止の場合は、その日は午前授業(登校日)となります。